

## 「緑の募金」SDGs貢献用途限定募金の受付について

「緑の募金」では、森林ボランティアによる森林づくり活動や森林・里山の保全、資源の循環的な利用を支援し、このことにより国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成にも貢献することとしています。

ご賛同いただける市民や団体の皆様から、広くご協力いただけるよう、SDGs達成への貢献に用途を限定した緑の募金を、3月1日～4月30日の間実施します。

募金に当たっては、SDGsの達成に貢献する取組として、事前にテーマ別に公募した候補事業（別添の一覧表をご覧ください。）のうちから、募金の用途として希望する事業を特定していただくこととなります。

### テーマ

- 安全・安心な生活環境の保全への貢献（SDGs 目標 6、11 貢献）
- 気候変動対策への貢献（SDGs 目標 7、13 貢献）
- 生物多様性の保全と回復への貢献（SDGs 目標 14、15 貢献）

募金はWeb上で受付しますので、次のページからお願いします。

<http://www.green.or.jp/bokin/crowdfunding>

なお、募金目標額に達しなかった候補事業に寄せられた募金については、他の候補事業の支援に使用される場合もあります。このことを含め、SDGs貢献用途限定募金の用途につきましては、HPで公表いたします。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4砂防会館別館5階  
公益社団法人国土緑化推進機構  
（担当：募金部 瀬戸、箕輪）

TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974

E-mail bokin@green.or.jp

## 令和2年度 緑の募金事業候補一覧 (SDGs 用途限定募金による支援)

### テーマ1. 安全・安心な生活環境の保全への貢献 (SDGs 目標6、11 貢献)

(単位: 千円)

NO	団体名	代表者名	所在地	事業名	事業地	事業目的	事業内容	SDGs 貢献	交付希望額	募金目標額 (交付希望額の 1/2)	摘要
sdgs1-0201	公益社団法人北海道森と緑の会	堀 達也	北海道	子どもたちと創る水源の森づくり事業	北海道石狩郡当別町	次の世代を担う子どもたちに水源の森づくりへ参加を促し、環境保全の大切さを伝え、持続可能な地域社会の実現を目指す。	下流域の都市部の保育園等及び森林ボランティア等と連携し、水源の森での植樹活動(1カ年0.1ha)に取り組む。活動の事前学習の機会として、森林の働きや森づくりの意義などについて、ボランティアや木育マイスター等によるレクチャーを受けるとともに、木とのふれあいを体験させ、未来の地域社会を担う人づくりにつなげる。	2,3,4,5,6,11,13,14,15,17	860	430	
sdgs1-0202	特定非営利活動法人 近自然森づくり協会	岡村 俊 邦	東京都	離島社会存続に向けた水源林の整備と活用	北海道羽幌町	人口および水源の減少が進む離島において、生物多様性の高い水源林を整備し、地下水の涵養と島の活性化を図る。	北海道の天売島において、トドマツ人工林の間伐を行い、混交林化を行う。林床の保全のため、間伐で伐倒した木材を馬で搬出し、現地で製材し、製材した木をシーカヤック艇庫に活用し、島の活性化に役立てる。また、木のない町有地に多種の広葉樹を植栽し、生物多様性の高い混交林を造成する。募金者が参加を希望される場合は、製材、防草シートの敷設、苗の植栽、苗養成のためのタネの採取等の協力をお願いする。	6,7,9,11,13,14,15	900	450	
sdgs1-0203	特定非営利活動法人 スタイル研究所	竹垣 英 信	東京都	八王子市寺田緑地の整備・緑化事業	東京都八王子市	大径木化と笹藪化が進んだ里山の再生と生物多様性回復、住みやすい生活環境づくりをめざし、都市住民を軸にした市民参加型の整備・緑化事業を行う。	① 里山(緑地)の整備 2カ年で1.4haを整備計画。今年度は0.7ha分を整備。具体的には、近隣住民の散策路となっている脇の笹藪の刈り取りと、形成不良木や枯損木の伐採。地元住民と対話しながら住宅団地に隣接する大径木の整備。林床植生と林内の見通しの回復、住みやすい生活環境づくりを目指す。② 里山の緑化 整備を終えた場所にヤマザクラの苗木を植え付け、緑化を図る。	11,13,15,17	2,000	1,000	
<b>合計</b>									<b>3,760</b>	<b>1,880</b>	

### テーマ2. 気候変動対策への貢献 (SDGs 目標7、13 貢献)

NO	団体名	代表者名	所在地	事業名	事業地	事業目的	事業内容	SDGs 貢献	交付希望額	募金目標額 (交付希望額の 1/2)	摘要
sdgs2-0201	非営利型一般社団法人 Silva (シルワ)	川下 都 志子	北海道	豊かな森づくりへの道 実働型次世代育成事業	神奈川県横須賀市	気候変動への緩和策となる土地本来の森の再生活動は、持続可能性の向上に次世代への実働を伴う環境教育が必要不可欠である。	防災機能を伴う土地本来の豊かな森づくりを実現する為に、当法人が培ってきたノウハウを若人へ継承し活動の持続可能性を高める。①現場の実体験を伴う学生受講料無料の「森林再生指導員認定制度」を公募し、オールシーズンで受講者を受け入れる(研修3日・試験・認定1日の計4日間)。②認知度を高める為、対象者100名を目処に希望する教育機関(小・中・高・大学)への無償のオンライン講座を半期に一度開催。今まで作成が厳しかった教育ツールの充実も図る。	3,5,6,8,11,12,13,14,15,17	1,000	500	
<b>合計</b>									<b>1,000</b>	<b>500</b>	

### テーマ3. 生物多様性の保全と回復への貢献 (SDGs 目標14、15 貢献)

NO	団体名	代表者名	所在地	事業名	事業地	事業目的	事業内容	SDGs 貢献	交付希望額	募金目標額 (交付希望額の 1/2)	摘要
sdgs3-0201	四賀林研グループ	山岸 忍	長野県	松本市四賀地区松茸山再生プロジェクト	長野県松本市	マツクイ虫により枯れ木の山となってしまった松茸山を整備・抵抗性松の植林により、絶滅危惧種である松茸を守り育てる。	①松本市四賀地区穴沢温泉の荒廃アカマツ林の枯損木を撤去、地拵え、抵抗性松約1,000本の植樹しアカマツ林再生を図る。②撤去した枯損木の一部をチップ化し、松本市波田にある竜島温泉のボイラー燃料として利用する。この「アカマツ枯損木の伐採～チップ化～燃料利用」を中心とした「木質バイオマス利用による松本地域ゼロカーボンへの取組み」と題したシンポジウムを行い木質バイオマス利用によるゼロカーボン推進の重要性を広く周知する。	7,15	550	275	
sdgs3-0202	公益財団法人オイスカ	中野 悦子	東京都	内モンゴルの砂漠緑化と肺炎症状を緩和する漢方薬栽培	内モンゴル自治区阿拉善盟阿拉善左旗	砂漠化が進み黄砂の発生源でもある地域において新型コロナ肺炎の症状緩和に効果のある薬草を栽培することにより、砂漠化防止・生物多様性増進・疾病症状の改善に貢献する。	砂漠化防止に効果のあるソウソウ等の植栽を行う。並行して新型コロナウイルス感染症(肺炎)の症状緩和効果のある薬草の苗畑も造成し、次年度以降栽培農家へ種子を無償提供できる体制を作る。栽培樹種は、青蒿(沙蒿)、麻黄、射干、甘草等。なお、砂漠下では草本類の活着により土壌が固定され、昆虫や小動物などが目に見えて増加するなど生物多様性への貢献が期待できる。秋以降コロナ禍が収束していれば、募金者等対象の見学ツアーも企画したい。	1,3,8,13,15,17	2,960	1,480	
<b>合計</b>									<b>3,510</b>	<b>1,755</b>	